

思考整理単語集

思考を深め、整合性を整え、確信の枠を広げる

300単語で仕事を、表現する言葉を確認にする
単語群は考えるための積み木である

一つ一つの言葉に負の力があってはならない。仕事をするために、自らの生活のために負を表現してはならない。もし、負の言葉が避けられないのであれば、負を打ち負かしてしまう言葉で覆わなければならない。考える力は、前を向いて強くなる。

- ・ 講演、研修準備に
 - ・ 目的設定のために
 - ・ 課題を明らかにするために
 - ・ 部下育成に
 - ・ 論文、レポート作成に
 - ・ 論理の過不足をなくすために
- e t c.

作成意図

◆大切な単語を300語抽出

たくさんの種類の仕事があるが、すべての仕事に共通している基本となり、大切な単語はごく僅かである。

単語は考えるための積み木である。

子どもたちが遊ぶ積み木には、5つ6つの種類の立体が何個かずつある。その立体を使って、形を作る。ただ、高く、高く、積み上げていく時もある。世の中にあるものの形を真似る。いろいろと作っている間に、独創的な形を作りだす。子どもたちが遊ぶ積み木の立体数は多くても100ブロック程度だ。100ブロックほどの積み木で様々な形を作りだす。

単語の積み木の数には限度がないかもしれない。辞書に載っている数は20万語程度である。日常に知らない単語はほとんど出てこないから、私たちが知っている単語数は10万語程度だろうか。その中で、自らが日常に使っている単語数は、おそらく2000語から3000語だろう。3000語の周辺を含めても1万単語には至らないはずだ。

単語を積み木に置き換えたとしたら、同じ形になるブロックは何一つとしてない。一つの単語でも、人によっては解釈が微妙に違うから、形も重さも違う。それぞれが持っている単語の積み木を集めれば、無限だろう。

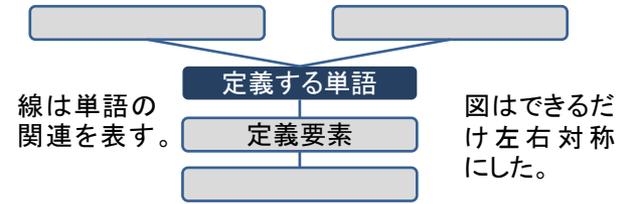
100ブロックほどの積み木で子どもたちは新たな形を作り出している。私たちは、単語の積み木を使って、新たな積み木も作りながら、新思潮を生み出している。

一人が2000語から3000語を使っていたとして、多くの人の共通部分で大切なところを絞り出してみると50単語から100単語ほどになる。共通部分を少し広げてみると、300語ほどになった。その単語群を本書に挙げた。仕事、マネジメント、マーケティング、市場、社会などについて書かれている文章を中心に単語群を引き出している。2ページと3ページに挙げた単語群である。科学・技術の専門分野となる単語群は除外している。

◆考えるための単語として

単語の意味を知りたければ、辞書を引けば良い。単語を自分の語として使うために、仕事の思考に、意思決定に矛盾やギャップを作り出さないために、思考、行動を積み上げていくために、単語の機能性を表せるように作ってみた。文ではなく、単語のつながりを表そうとした。表した単語はその単語を定義するための要素となるはずである。

単語群を眺めて、意味を自身で自由に展開できるようにした。もちろん、意味を外さないようにした。右上の図のように、単語をつないで表現している。一つの単語には正と負の意味がある。正を表していても負に向かうときがある。その逆もある。立場と考え方によって、正が負に、負が正になるときもある。



単語一つの意味を定めるためには、必ず別の単語が2、3語必要になる。単語一つの意味を固定しないで放っておくと、時と事情によって意味の方向が変わる。仕事をするとき、目的を設定するとき、方向が変わっては成果を効果的にあげられない。そのための1単語に対する語群である。

◆本書の構成

本書は、上に挙げた図の方法で300単語を表した。300単語が絡み合っ、仕事が成立し、目的にブレがないようになる。

300単語への視点を短い文でp.58から表した。図を見て、考えるときの参考、または叩き台になるようにした。

上図で表したページ数は53ページ(p.6~p.57)あるが、ここで使われる単語を集計して一覧にした。基本となる単語の周辺単語である。全体で2000語ほどあった。たぶん、2000語が仕事を支え、発展させていく単語群ではないだろうか。

これら以外に、前提として考えなければならない項目を挙げた。これらは如何なる仕事も、発展のために外してはならない事柄である。

もう一つ、社会が機能するための4つの原則を表している。

◆目次について

目次の●印のついている単語はページタイトルになっている。1ページはタイトルにできるだけ関連のある単語を集めた。ページの構成の順番は、ページタイトルの50音順である。

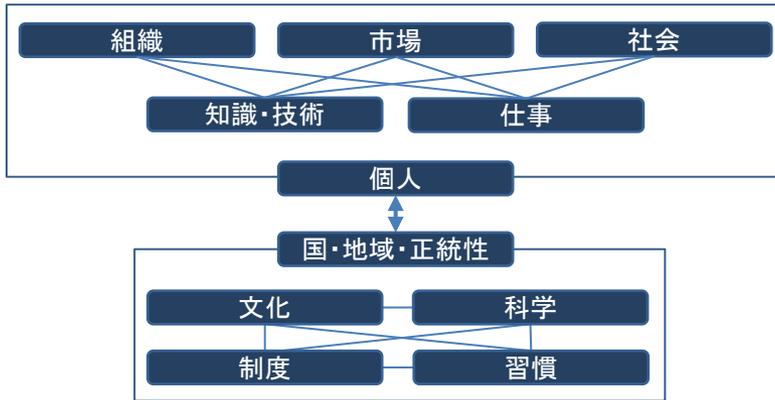
目次 1

本書作成意図	1	基盤	16	交通	42	指導	15
常に考えるべき前提	4	基本	16	公平	27	使命	23
4つの原則	5	お金	25	公理	16	視野	55
人材の能力資産	35	オペレーション	35	合理性	39	●社会	25
各単語への視点	58	-お-		効率	8	社会観察	37
使用単語一覧	69	●教育	13	顧客	24	●社会基盤	26
		共生	6	個人	30	尺度	32
		競争	28	●コスト	18	●自由	27
		協働	57	●言葉	19	習慣(慣習)	34
		教養	55	コミュニケーション	23	宗教	52
		●緊張	14	コミュニティ	42	充実	06
		金利	15	コラボレーション	54	●集中	28
		-く-		根源	16	主観	30
		偶像	34	混合	42	●主張(意見)	29
		区別	50	-さ-		順位(評価)	7
		グローバリゼーション	9	サービス	24	仕様	24
		-け-		最適	39	条件	10
		経営(マネジメント)	23	材料	17	●常識	30
		経験	55	策定	38	状態	7
		●経済	15	差別	52	焦点	28
		計算	32	●産業	20	情熱	28
		継続	39	-し-		消費	49
		結論	10	時間	25	障壁	20
		●環境	12	●事業	21	情報	25
		観察	46	軸	36	情報流	41
		慣習(習慣)	34	刺激	53	自立	44
		感情	56	資源	21	進化	8
		完全	34	思考	45	人格	44
		●イノベーション	8	●自己実現	22	人材	44
		管理	26	●仕事(ビジネス)	23	人工	31
		-き-		施策	54	真実	50
		記憶	33	資産	20	心情	56
		●インターネット	9	●市場	24	人生	44
		インターフェイス	41	時制	50	診断	38
		インフラ	26	自然	12	●信頼	31
		-う-		思想	27	真理	50
		運動	33	●実現	49	-す-	
		-え-		視点	51	水準	7
		影響	43				
		エネルギー	26				
		機能	36				

目次 2

● 推理	45	断絶	39	-ね-		傍観	43	リスク	18
● 数	32	-ち-		ネットワーク	41	方向	50	● 理性	56
● ストレス	53	チーム	54	-の-		報道相	47	● 理想	56
-せ-		知覚	51	● 能力	45	● -ま-		● 流通	48
成果	57	知識	13	ノルマ	54	マーケティング	48	● 倫理	49
● 生活	25	● 秩序	36	-は-		● マイニング	49	-る-	
● 制御	39	● 中心	36	場	22	● マネジメント(経営)	23	-れ-	
● 生産	21	抽象	9	バーチャル	9	● 満足	53	● 歴史	12
● 生産性	21	● 挑戦	28	パターン	9	-み-		-ろ-	
● 政治	26	潮流	14	発見	55	● 未来	50	● 労働	57
● 性質	17	● 調和	39	● 発展	11	● 見る	51	● 論理	49
● 成長	6	-つ-		● バランス	39	● 観る	51	-わ-	
● 精度	33	● 追求	11	判断	47	● 見る	51	和	6
● 制度	52	-て-		● 販売	48	● 視る	51		
● 正当	34	提案	40	-ひ-		● 診る	51		
● 正統	34	定義	19	比較	33	● 民族	52		
● 整備	35	● データ	37	● ビジネス(仕事)	23	● -む-			
● 正負	29	● 適応	38	● ビジョン	40	● 矛盾	38		
● 制約	39	● 適正	39	● ビッグデータ	37	● 無駄	31		
● 責任	11	● デザイン(設計)	40	● 人	44	-め-			
● 世代	50	● 転換	41	● 評価(順位)	7	-も-			
● 設計(デザイン)	40	● 伝承	13	● 標準	16	● 目的	53		
● 全体	49	-と-		● 平等	27	● 目標	53		
● 選択	41	統一	41	-ふ-		● モチベーション	22		
● 前提	36	● 道具	33	● ファッション	43	● 問題	10		
● 戦略	18	● 統計	32	● 風土	52	-や-			
-そ-		● 闘争	52	● ブランド	48	● 役割	57		
● 相関	10	● 特異	22	● プロフェッショナル	22	-ゆ-			
● 創造	45	● 都市	42	● プロジェクト	54	● 有効	33		
● 想定	38	● トренд	43	● 文化	52	-よ-			
● 相反	10	-な-		● 分解	46	● 抑圧	14		
● 組織	23	● 仲間	31	● 分析(解析)	46	● 欲求	53		
● 存在	36	-に-		-へ-		● 世論	26		
-た-		二一ズ	24	● 平均	32	-ら-			
● 体系	16	● 日常	6	● 平和	6	-り-			
● 卓越	22	● 人間	44	● 変化	8	● リーダー	54		
● 達成	11	● 認識	56	● 変革	8	● 利益	18		
		-ぬ-		-ほ-		● 理解	55		

常に考えるべき前提



個人が置かれている環境、状況は改善できても変えるのは難しい。むしろ変えられないとした方が良好だろう。改善もすぐには難しい。

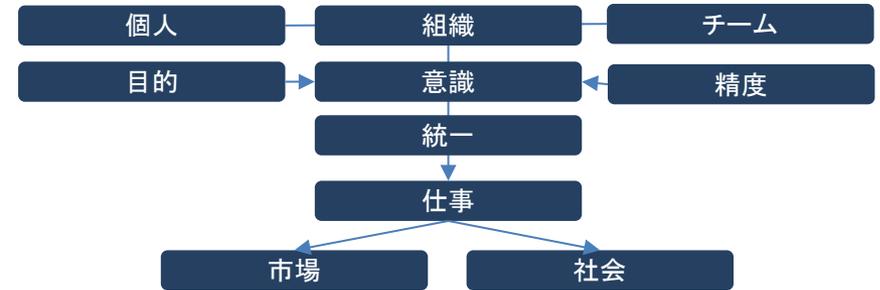
まず、個人がいる社会があり、仕事での市場があり、自身が所属している組織がある。個人が仕事を請け負い進められるだけの知識・技術を持っている。これらは、自身に直接に関わっている事柄である。

所属している社会と、仕事の対象としている地域には、文化、習慣がある。文化と習慣は、革命でも起こさない限り、変えられない。過去から積み上げてしまったものは、変えようがない。

何をするにしても、常にこれらを忘れてはならない。

自身が身を置く社会とは、市場とは、組織とは何かを確認しておく。そして、社会を形成している文化などを自らの言葉で、簡単ではあっても説明できるようにしていなければ、判断の根拠を見失ってしまう。慣習を忘れてしまうと、取り返しのつかない失敗もありえる。

これらが前提である。常に念頭に置いておかねばならない。今、現在を語られるようにしていなければならない。



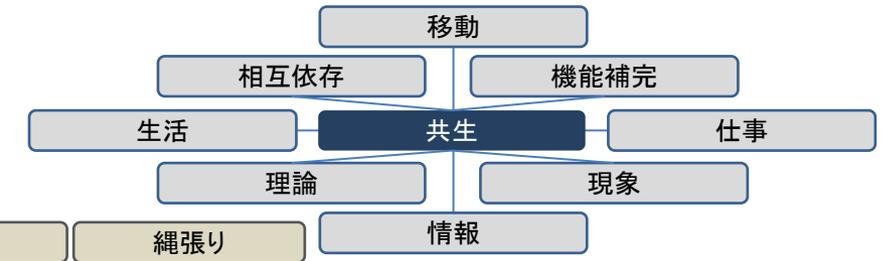
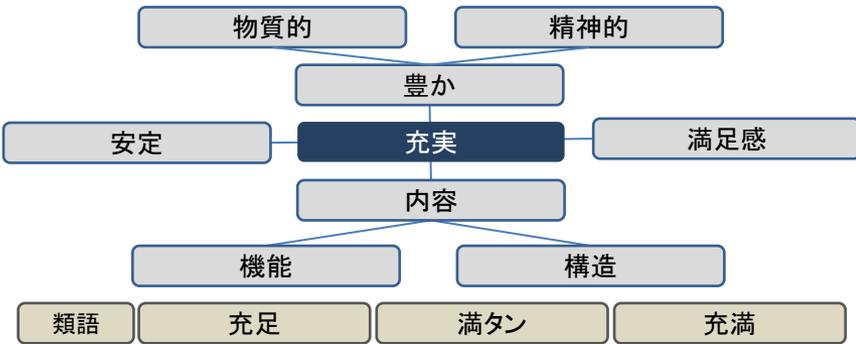
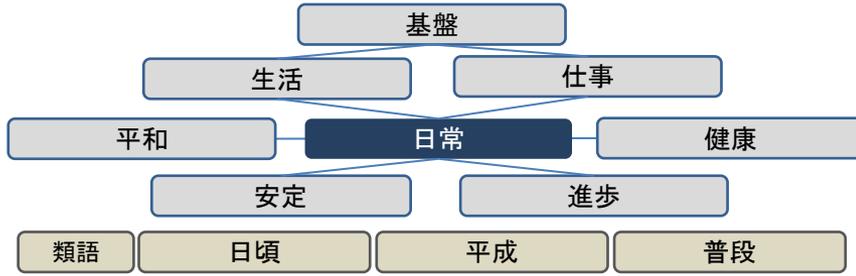
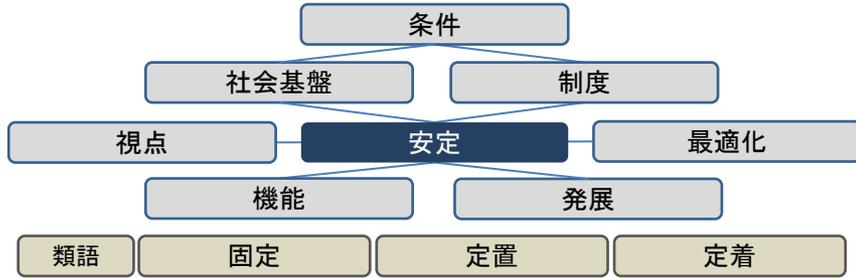
仕事は決して一人では完結しない。まったくの一人企業であっても、顧客がいる。市場がある。物を作っているなら材料の仕入れ先がある。知識の仕入れ先がある。伝達する手段とインフラがある。

仲間がいるとき、目的を共有しなければならない。精度を意識しなければ、市場から忘れられてしまう。

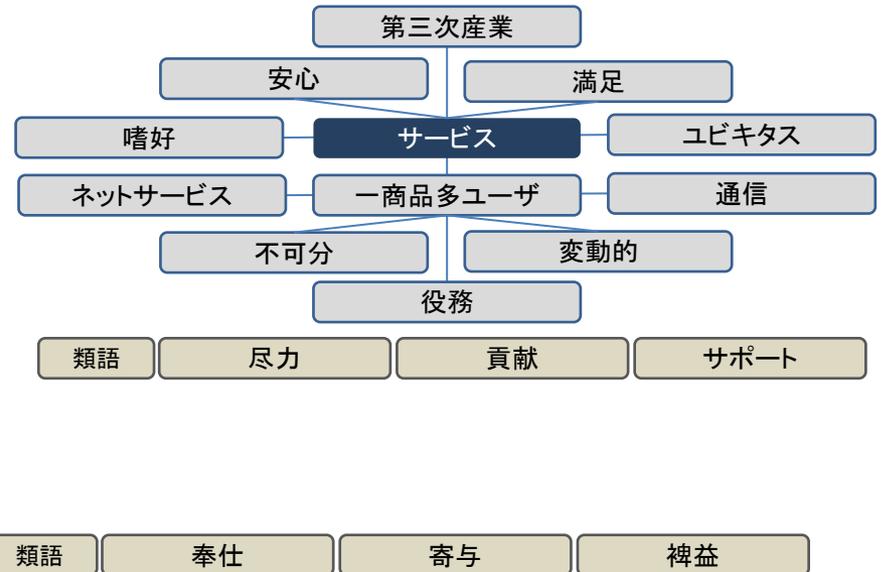
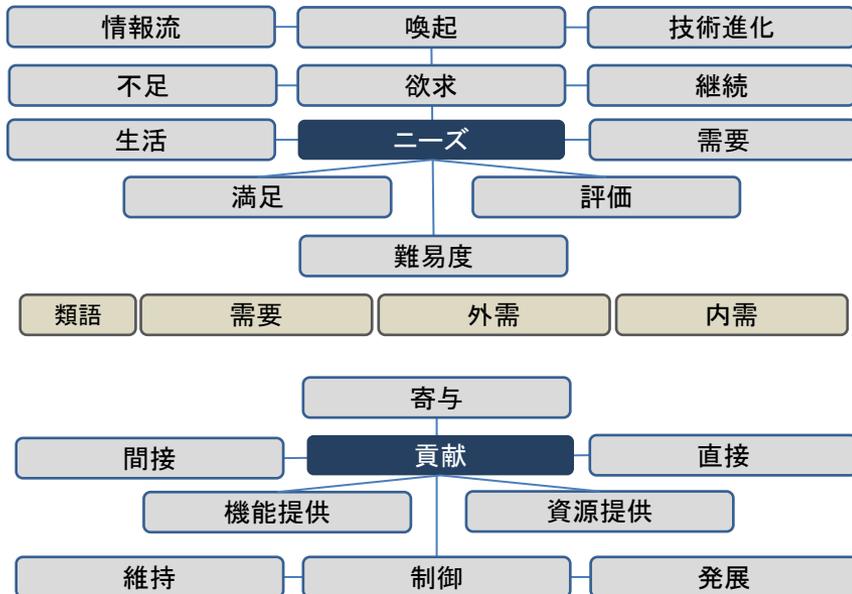
これらは仕事をするため、仕事で成果を上げるための前提である。

身を置いている環境と、自らの仕事に関わる事柄は、如何なるものを考えるにしても前提となる。上の図にあがった単語群で、国と地域以外は、300単語の中に含まれている。仕事を考えるとすれば、右上の単語群のそれぞれについて、環境を考えるとすれば、左上の単語群の解を待たねばならない。

安定



市場



単語への視点

定義をしようとした300単語について考える方向などを表した。単語の説明ではなく、単語への視点、姿勢を表した。比喩的に表現している箇所がある。どこまで深く、丁寧にとらえているかで、単語と単語のつながりが変わってくる。関連図と合わせて活用して戴きたい。

【あ】

相手 相手には二つの方向の意味がある。一つは仲間で、他の一つは、働きかける相手、自身の成果を評価する外部の者である。

アイデア アイデアは単なるひらめきではない。積み重ねられた知識と経験があって現れる。常に考えていて辿り着く。

アプローチ アプローチをするには前段階がある。目的、材料、方法、そして、対象への認識がなければならない。

安全 安全に絶対はない。比較すべきものがある。基準と対象がなければならない。「安全」としても、背景に「～と比べて安全」である。

安定 安定が生み出すモノを考える。安定であるための条件を考える。安定に向かって私たちは活動をしている。

【い】

育成 育成行動以前に目標とするところの意識が必要である。育成機能が発生する精神的、物理的環境が必要である。

意見 知識と経験、推論と発想があって意見は現れる。裏打ちされた前提が必要である。

意向 伝聞的習慣と立場を考慮した使い方している場合が多い。単なる単語としてとらえる方が伝達の正確さができるかもしれない。

維持 維持する努力があって、進歩がある。維持することで慣れと矛盾が現れると危険が増す。

意識 意識を意識する時などほとんどない。どのような状態が意識しているのかを考えてみるのも良いかもしれない。意識すれば、気づきが増えてくる。

意思決定 決断である。あらゆる条件、方向、持ってるモノを含めて最善の選択、判断をする。意思決定にはリスクが伴うことを忘れてはならない。

依存 他の物に対して、他の人に対して、精神的に、自分の拠り所となっている。実質として寄りかかっている場合もある。基準、習慣、制度に依存している場合、是非の判断を見失う時がある。

一般 基準になっているモノ、所属しているコミュニティや組織によって一般は変わる。一般を使うとき、その全体は何であるかを確認する。

異動 習慣的異動は弊害になる場合がある。組織の状態、責務を把握して行わなければならない。

移動 位置、状態、考えの移動がある。主体になっているものは変わらない。時間と速さ、精度が重要になる。

イノベーション 変革、革新と類似し、多くの分野で使われている。日本では技術、知識に対して使われることが多いが、革新と同様、あらゆる分野に関わる。

意味 立場、環境、時期によって意味が変化する。視ているモノが同じであっても視る条件、価値観が異なるからだ。

意欲 意欲を意識的に作り出せればよいが困難である。機会と可能性を見出す方が効果がある。

インターネット インターネットが何かではない。インターネットが何をするかではない。インターネットが何を起こし、何を变えるかを考える。

インターフェイス 人と人、物と人、人と組織、人と施策、人と機会、様々な接続がある。それらはすべて発展へのチャンスである。

インフラ インフラは、物理的な面でもとらえられる場合が多い。だが、意識と思想があって、期待があって、インフラが整えられる。物のインフラ以前に思想、意識のインフラがある。

【う】

運動 動けば何かが起こる。変化が生じる。物理的なものと精神的なものが連動する。

【え】

影響 静止している所では何も起こらない。新たな物が入って、動きがあって、あらゆるところに影響する。気付かないところまで影響する時もある。バタフライ効果も立証されている。

エネルギー 類語に「動力源」がある。エネルギーが関わることを意識している必要があるのではないか。「意欲の素」もエネルギーと解釈できる。

【お】

応用 既存にあるモノを大切にしなければならない。分かっていることは出来るだけ取り入れる。すべてがどこに、いつ、関わるか分からない。

お金 個人の価値、多くの人の共通の価値、これらを表す手段の一つである。意識の等価交換の道具である。

使用単語一覧

300単語を理解するために、一単語ずつを単語群で図式にした。単語の意味をイメージし、自分なりの意味を仕事や活動に合わせていくためである。

p.6～p.57で使った単語の総数は3676単語になった。重複した単語を削除すると使用単語数は1883単語になった。

如何なる仕事にも共通している単語数としては、十分ではないかと思う。様々なレポートを読んでも、専門分野を除く単語群として当てはまるはずだ。逆の言い方をすれば、これだけの単語群を把握すれば、社会現象や組織、マーケティング、マネジメントについてまとめられるはずである。

使用単語一覧は、50音図順で表した。単語の直ぐ右に表されている数は、使われた頻度で、その右の数は、最初に出てきたページ数である。

一番多く使われた単語は「目的」で44回であった。次が「機能」と「社会」で27回、次が「知識」の25回であった。

仕事をするとき、「目的」を持っていなければならない。「機能」がなければならない。「社会」を見ている必要があり、「知識」を持って視なければならない。仕事をする上で、創造のために、「目的」「機能」「社会」「知識」は重要単語となった。

このページに表された単語群から、p.6～p.57を引いても参考にして戴けるのではないだろうか。

1つ	1 22	育成意識	1 22	移動自由	1 41
ASP	1 9	意見	2 26	移動平均	1 42
NPO	1 24	意向	1 31	移動率	1 42
SNS	1 9	意志	1 29	イノベーション	1 8
あ		維持	7 10	異物	3 43
相方	1 57	意識	14 9	意味	6 11
相手	4 29	意識上	1 31	意味データ	1 37
アイデア	1 15	意識障壁	1 41	意味的	1 20
アカウントティング	1 23	意識調査	1 48	イメージ化	1 9
諦め	1 39	意識的構成	1 49	イメージ形成	1 48
アタック	1 28	意識統一	1 54	イメージ統合	1 9
圧状	1 14	意識範囲	1 49	意欲	1 28
圧倒	1 14	意識ブロック	1 50	依頼	1 30
集める	1 28	意識流通	1 15	因果	2 12
圧力	2 41	意思決定	5 10	因果関係	1 53
当てはめ	2 38	異質	1 49	因子	3 25
アナウンス効果	1 26	イジメ	1 14	因習	1 34
アナログ	1 42	意匠	4 40	インターネット	4 9
アニミズム	1 12	以上	1 42	インターフェイス	2 41
アプローチ	6 13	異常	2 32	イントラネット	2 9
争い	2 18	衣食住	1 25	インパクト	1 43
あるがまま	1 12	位相	1 37	インフラ	1 26
アルゴリズム	2 40	依存	1 30	インフラ機能	1 42
安易	1 41	位置	3 36	う	
安心	5 7	一期	1 44	ウェブ	1 9
安全	6 20	一時的	1 25	受け継ぐ	1 39
安泰	1 25	一商品多ユーザ	1 24	動き	1 42
安定	12 6	位置変動	1 33	運営	2 15
安定性	2 11	一貫性	1 48	運賃	1 32
安寧	1 25	一世	1 44	運転	1 26
アンバランス	1 10	一定期間	1 54	運動	1 33
暗黙知	2 34	一般	1 30	運輸	1 42
い		一般人	1 26	え	
意義	1 29	イデオロギー	1 26	永遠	1 50
行き来	1 42	意図	2 31	影響	6 10
異業種	1 54	異動	1 15	影響性	1 17
育成	6 7	移動	9 6	影響度	1 11